

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	学習指導 教育課程	<p>① 共生社会の実現に貢献できる人材の育成に向けて、インクルーシブな学習環境を構築し、協働的な学びを通じた相互理解の深化につながる教育課程の編成や学校行事の精選・充実に取り組む。</p> <p>② 1人1台端末を効果的に活用した個別最適な学びの充実により、総合的な探究の時間の充実に、主体的に学ぶ意欲を高め、学ぶ喜びのある授業を実践する。</p>	<p>① 指導と評価の一体化に向けて、言語活動を取り入れた授業実践に取り組む。また、総合的な探究の時間を抜本的に見直し、探究的な視点を養う学習プログラムを構築する。</p> <p>② 主体的に学ぶ意欲を喚起し、学習に対する苦手感を軽減することで、学ぶ喜びを感じられるよう、組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>① 指導と評価の一体化に向けた研究を進めるとともに、総合的な探究の時間を含めた3年間を通じた体系的なカリキュラムによる学習プログラムを構築する。</p> <p>② ICT利活用授業における1人1台端末の効果的な活用について研究を進めるとともに、ICT機器を活用しやすい環境整備や取扱い方法のマニュアル化を進める。</p> <p>③ スタディサプリの到達度テストにおける連動課題配信機能を活用し、個別最適な学びを実践する。</p>	<p>① 総合的な探究の時間について、探究的な視点を養う体系的な学習プログラムを構築することができたか。</p> <p>② 1人1台端末を活用した授業の頻度が上昇したか。また、その授業方法を職員間で共有することができたか。</p> <p>③ スタディサプリのログイン率・動画視聴時間・初回正答率が、昨年度と比較して上昇したか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>① 生徒一人ひとりの状況に応じた組織的な指導・支援体制の充実に、安心・安全でインクルーシブな学校づくりを推進する。</p> <p>② 学校行事や部活動等の活性化を通して、インクルーシブな人間関係の構築に向けた生徒の主体的な取組みを促す。</p>	<p>① 生徒一人ひとりの状況に応じた、きめ細やかな指導・支援体制を充実させ、すべての生徒が安心して学べる環境の整備を推進する。</p> <p>② 生徒が部活動等を通して達成感や充実感を得ることができ、心身ともに成長できるよう、生徒会や部活動の活性化・加入率の向上をはかる。</p>	<p>① 「かながわ子どもサポートドック」の取組を推進し、生徒の状況や課題、ニーズに応じた支援を行う。</p> <p>② 講話等を通して、人権や生命尊重の意識を醸成する。特に交通安全教育において、スクエアドストリート方式の交通安全講座を計画するとともに、自転車ヘルメットの着用率向上に努める。</p> <p>③ 生徒会や部活動等の安心安全な活動を担保し、学習との両立ができるよう支援していく。</p> <p>④ 新たな体育祭の成功に向け、生徒の意見や発想を尊重し、主体的な取組みを支援する。</p>	<p>① 学年会議やケース会議、SC・SSWとの情報共有や学習環境の整備を通じて、生徒一人ひとりの状況に応じた支援を実施できたか。</p> <p>② 各種講座のアンケート結果等で、生徒の意識の向上が見られたか。</p> <p>③ 部活動の加入率が向上したか、また安心安全な生徒会活動、部活動等が行えたか。</p> <p>④ 生徒の行事に対する充実感達成感が得られたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<p>① 生徒自身が考え、進路希望の実現に向けた行動をするなど、生徒の主体性を育むキャリア教育を組織的・計画的に実践する。</p> <p>② インクルーシブ教育実践推進校として、生徒一人ひとりの社会接続を実現するために、ていねいな進路支援を行う。</p>	<p>① 一人ひとりの進路希望の実現に向け、生徒及び保護者との綿密な情報共有を行う。探究活動を通じて、現状を分析し課題を明らかにする力を育む。</p> <p>② 特別募集で入学した生徒の社会接続に組織的に取り組む。</p>	<p>① 生徒・保護者との情報共有や進路データの有効活用、多様な入試制度に関する的確な情報提供により生徒の進路実現を支援する。</p> <p>① 模試の振り返り等により自分の立ち位置を知ることによって向上心を高め、主体的な進路探究に向かわせる。</p> <p>② 3年間の「進路実践」を中心に、生徒の自己理解を深めさせ、個々の希望に応じて幅広い実習・体験先の開拓を行う。</p>	<p>① 生徒の進路探究に向けて、模試の結果等も活用して、1年生には意識付け、2年生には希望の絞り込み、3年生には進路実現の支援ができたか。</p> <p>② 授業展開の工夫や保護者への説明会等を通して、特別募集生徒の個々の希望を踏まえた社会接続が実現できたか。</p>
4	地域等との協働	<p>① インクルーシブ教育実践推進校としての本校の取組みを地域に情報発信するとともに、生徒の地域理解・研究と地域貢献を通じ、連携と協働を推進する。</p> <p>② 地域防災の推進や情報交換等を通じて、近隣地域との連携を推進する。</p>	<p>① Web ページや他の SNS ツールも活用し、本校の教育活動や地域貢献の取組みを発信する。学校説明会等の内容を充実させる。</p> <p>② 紙上防災訓練(緊急時避難、DIG)や、火災・地震想定避難訓練、避難所開設訓練を実施し、地域への協力体制を整える。</p>	<p>① Web ページ等の更新頻度を上げ、本校の魅力を分かりやすく発信する。学校説明会やオープンスクールでは生徒主体の広報活動を行う。</p> <p>① 部活動顧問向けの CMS 講習を実施し、入学希望の中学生等にタイムリーな情報発信ができる体制を作る。</p> <p>② 校内の防災関係のマニュアルを整備し、地域防災に貢献できるよう近隣自治会や南足柄市との情報交換を密にしていく。</p>	<p>① Web ページや他の SNS ツールの更新頻度を上げたり、学校説明会等で生徒主体の広報を行ったりすることができたか。入学者選抜における志願者数が増加したか。</p> <p>② 近隣地域との情報交換および連携を密にし、研修等を通して防災避難体制の整備を進められたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>① 学校全体で教育環境に対する課題を共有し、校内施設と教育活動のバリアフリー化を進めるとともに、安心・安全な学校づくりを組織的・計画的に推進する。</p> <p>② 不祥事防止に努め、実効性の高い組織的な取り組みを行う。</p>	<p>① 職場環境の整備や業務の精選を行い、ゆとりをもって生徒に対応できる時間を確保する。</p> <p>① 生徒の生活環境を整え、安全でない学校生活を送れるよう配慮する。</p> <p>② 不祥事防止研修を継続的に実施し、全校体制での防止策強化に取り組む。</p>	<p>① 業務内容を見直し、個人に頼らない仕組みづくりや業務の整理と手順の改善を図る。</p> <p>① 生徒の生活用品の管理・補充の体制を整える。</p> <p>② 毎月定期的に不祥事防止研修を開き、職員全体に注意喚起するとともに、個々に自己点検を行い、不祥事防止を自分事としてとらえる機会とする。</p>	<p>① 企画会議、グループ・学年の会議等を通じて業務内容や業務遂行手順の見直しを行ったか。</p> <p>① 事務室と連携を取り、生活用品の補充や補修を適切に行ったか。</p> <p>② 場面に応じた注意点や改善点の共有など、組織的な不祥事防止を実践できたか。</p>